

## 平成 28 年度 糸魚川市学校保健部活動報告

部長 水嶋 信一

小・中学校が連携を図る中で、中学校区の児童生徒の健康課題を把握し、課題解決に向けた実践を展開した。また、義務教育 9 年間の視点から、関連する部門(糸魚川市学校教育研究会、学校保健部会、糸魚川市養護教員会、糸魚川市学校保健会研修部)との連携を深めながら、養護教諭の資質・能力を高める研修実践を展開した。

### 1 研究主題

中学校区ですすめる学校保健活動の充実を目指して ～連携を視点に考える養護教諭の関わり～

### 2 研究の概要

将来の健康のために、主体的な健康づくりができる子どもを育てるために、小中連携した取組を、各中学校区でテーマ別(保健教育・保健管理・組織活動など)に実践研究を行う。

### 3 研究の実際

(1) 養護教諭が、自校の健康課題や中学校区の課題を踏まえた児童生徒の健康管理能力の育成を期するため、中学校区ごとに研修テーマを設定し、実践に基づいた研修を行った。

- ①保健教育(保健学習・保健指導など)：能生・糸魚川東・糸魚川中学校区
- ②保健組織活動：能生・青海中学校区

(2) 全養護教諭が、成果を共有・実践化できるように全体研修の場を絞定した。

<実践内容>

○ 研修会とグループワーク

● 1回目：市養護教員会研修会

グループワーク・各中学校区の研究の方向性を確認・共有化を図る。

● 2回目：市教育研究会保健部研修

講義と指導『養護教諭としてコーディネーション力を高めていくために』

講師：上越教育事務所学校支援第2課指導主事 高瀬 育子 様

グループワーク・各中学校区の実践報告

● 3回目：市養護教員会研修会

実践の成果の確認・今後の課題の確認

● 4回目：市学校保健会研修会

『これからの健康診断を考える ～成長曲線と四肢の状態を中心として～』

- ・健康診断における成長曲線の活用について：内科・小児科医師 山本 習子 様
- ・整形外科における四肢の検査の意義について：整形外科医師 山上 亨 様

(3) 研究実践を評価し、冊子にまとめる。

### 4 成果と課題

○ 養護教諭がコーディネーターとして、児童生徒の健康課題の解決に向けた方策について小中連携した取組の中で共有することができた。

○ 各中学校区とも、児童生徒の実態に基づいた健康課題の把握から、小中一貫した共通取組実践を行い、自校の保健教育につなげることができた。

○ 新しい健康診断の方法について理解が得られた。今後も医師との連携を図っていきたい。